

浦島太郎

作詞作曲者不詳

□□□□□

一、昔昔(むかしむかし) 浦島は
助けた亀(かめ)に連れられて
龍宮城(りゅうぐうじょう)へ来て見れば
絵にもかけない美しさ

二、乙姫様(おとひめさま)の

御馳走(ごちそう)に
鯛(たい)や比目魚(ひらめ)の

舞踊(まいおどり)
ただ珍(めづらし)くおもしろく
月日のたつのも夢の中(うち)

三、遊(あそび)にあきて気がついて
お暇乞(いとまご)いもそこそこに
帰る途中(とちゅう)の楽しみは
土産(みやげ)に貰(もら)った
玉手箱(たまてばこ)

四、帰って見れば、こは如何(いかに)
元(もと)と居た家も村も無く
路(みち)に行きあう人々は
顔も知らない者ばかり

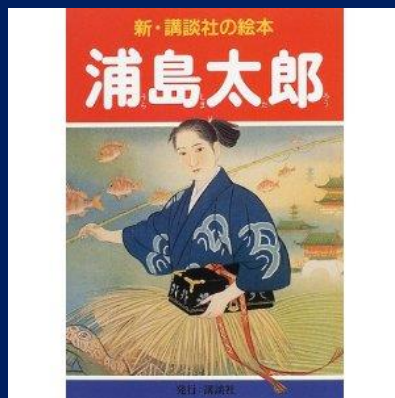
五、心細(こころほそ)さに蓋(ふた)とれば
あけて悔(くや)しき玉手箱
中からぱつと白煙(しろけむり)
たちまち太郎はお爺(じい)さん

浦島太郎

1

昔昔(むかしむかし) 浦島は
 助けた亀(かめ) に
 連れられて
 龍宮城(りゅうきやうじやう) へ

来て見れば
 絵にもかけない
 美しさ



浦島太郎

2

□□□■

乙姫様(おとひめさま)の

御馳走(ごちそう)に

鯛や比目魚(ひらめ)の

舞踊(まいおど)

ただ珍(めづらし)しく

おもしろく

月日のたつのも

夢の中(うち)



浦島太郎

3



遊(あそび)にあきて

気がついて

お暇乞(らひまがいこ)も

そこそこに

帰る途中(とちゆう)の

楽しみは

土産(みやげ)に貰(もら)った

玉手箱(たまてばこ)



浦島太郎

4

帰って見れば

こは如何(いか)に

元(もと)居た家も

村も無く

路(みち)に行きあう

人々は

顔も知らない者ばかり



浦島太郎

5

心細(こころおそ)やうに

蓋(ふた)とねば

あけて悔(くや)しき

玉手箱

中からはっし

白煙(しろけむり)

たちまち太郎は

お爺(おや)やん



End